

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

公営企業会計		事務事業分類		基礎点検	
事務事業名		D 建設・整備事業		D 建設・整備事業	
担当部署名		シート番号		60-7	
上下水道		水道		評価責任者(課長名)	
局		部		井倉	
水道サービスセンター		課			

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	水道法			
	4	関連計画	新世紀第二次配水施設整備事業計画(平成20~27年度)、堺市上下水道ビジョン等			
5	事業実施の経緯	水道事業創設から拡張事業などで布設してきた配水支管(口径300mm以下)について、今後、法定耐用年数(40年)を経過する管路の増加が見込まれることから、延命化を図りつつ計画的に更新することで漏水事故の未然防止を図るため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民をはじめとしたお客さま			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	法定耐用年数(40年)を経過し経年劣化(法定耐用年数を経過した管路の内、老朽化したもの)した配水支管について、延命化を図りつつ、計画的に更新し耐震化することで施設を健全に保つ。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	法定耐用年数(40年)を経過し経年劣化した配水支管を、計画的に更新し耐震化を図る。 平成30年度は、優先耐震化路線の構築に伴うものを含み20.8km更新した。 (4.7km(H29繰越)+16.1km(H30))			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 恒和建设株式会社、関西グランドテック株式会社、株式会社ユニオンテック				

Ⅲ. 投入量

項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	1,609,253	1,976,883	2,077,705	2,910,797	
	主な事業費内訳	配水支管更新	千円	1,609,253	1,976,883	2,077,705	2,910,797
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	856,381	803,906	1,065,365	1,160,000
		その他()	千円				
	一般財源	千円	752,872	1,172,977	1,012,340	1,750,797	
	12 人件費 (b)	千円	253,440	284,600	268,140	272,970	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,862,693	2,261,483	2,345,845	3,183,767		